

龍谷の教育

No.174

2025.Spring



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>

新たな旅立ちと出発の季節



学校法人佐賀龍谷学園
龍谷中学校・高等学校 校長



松尾敏実

この度、吉松幸宏前校長の後任として龍谷中学校・高等学校校長に就任いたしました松尾敏実と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、明治11年（1878年）、佐賀市呉服元町の願正寺境内に設立された「振風教校」をはじめとする浄土真宗の宗門校で、長い歴史と伝統のある学校です。また、本校は、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の「み教え」を建学の精神とし、校訓として「合掌」「感謝」「自律」「明朗」を掲げ、すべての人が平等に生かされている生命の尊さに目覚め、感謝のうちにお互いが敬愛し合う心豊かな人格を備え、社会の進展に貢献する強く明るい生徒の育成に努めています。

本校の教育は、建学の精神を基に、知・徳・体の調和のとれた全人教育をめざしており、宗教教育を基礎に好ましい人間関係を育て、生徒一人ひとりの個性を尊重し、学習・文化・体育等あらゆる分野の教育活動を通じて能力の発見と開発に努めています。特に、本校は、「心の教育」に力を入れており、「おかげさま」、「ありがとう」という感謝の心を大切にするということ、人を思いやるということ、そして、困難にめげず、凛として朗らかに爽やかに生き抜くことを大切にして、教育活動に取り組んでいます。

また、急速な情報化や国際化などにより社会の変化が進む中、変化を前向きに受けとめ、課題に対応していくことのできる人材が求められています。そのため、

本校では、知識・技能を高め、思考力・判断力・表現力を身につけ、主体的に学習に取り組む態度を育むなど確かな学力を身につけるとともに、「心の教育」を土台にして、キャリア教育、ライフスキル教育、学力向上、グローバル人材育成、ICT教育（5プラス1の教育）の充実に取り組んでいます。

今年度は、本校が取り組んでいるこれらの教育についてさらに磨きをかけ、着実な成果が得られるように努めていきたいと考えています。具体的には、まず、「心の教育」の充実に力を入れていきます。本校の特色にもなっている「宗教」の授業や「朝の参拝」、「報恩の集い」などこれまで通り大事にしていくとともに、探究活動や学校行事、生徒会活動、部活動、校外活動等への生徒の主体的、積極的な参加を推奨し、その中で協働する力や他者への共感、思いやりの心を育てていきたいと考えています。また、生徒にとつて安全、安心な学校となるよう努めていきます。

さらに、キャリア教育の充実と学力向上により生徒の進路実現に力を入れていきます。学習面では基礎基本の定着を図り、確かな学力の育成を図るとともに、一人ひとりを大事にしたきめ細かな進路支援により、生徒の進路希望が実現できるように努めていきます。

最後に、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんとともに本校で学べることをうれしく思います。また、保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動に、ご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。どうか今後ともよろしくお願いいたします。

新年度の準備のために、職員室の自席の机を整理しないと……と大掃除をしていました。積み重なった書籍の下に、埋もれていたポストカードが一枚。

「点数」

にんげんはねえ
人から点数をつけられるために
この世に生まれてきたのでは
ないんだよ
にんげんがさき
点数は後

数年前に佐賀県立美術館で開催された「相田みつを展」を観に行った際に、何かグズズはあるかたと出口近くのブースで見つけて購入したものでした。

普段、学校現場に身を置いていますと、いかに私たちが数字と向き合っているかが分かります。生徒一人一人のテストの結果から、評定、偏差値、順位などなど。もちろん学校ですので生徒の評価を行うことは避けられません。「成績が上がった、よしこれから頑張ろう!」「成績が下がった、このままではいけない!」と次の学習活動、学校生活の指標となります。

しかし、同時に感じるのが私たちは数字に振り回されているということですね。さまざまなことを点数化して、あたかもゲームのステータスのようになっています。

同 朋

相手に対してきちんと挨拶する、ということなどを点数化できるでしょうか。回数？声の大きさ？難しいですし、意味はないように思います。他者に対しての優しい言動は。困っている人に対して手を差し伸べることは。点数や数字に振り回されると、恐ろしい人間評価になってしまっているのではないのでしょうか。

浄土真宗本願寺派の宗門関係学校である本校は、仏教精神・特に親鸞聖人のみ教えが「建学の精神」です。学校ですから、もちろん生徒一人ひとりの評価はしなければなりません。ただその前に、仏さまの教えを土台に人間として成長すること、これが求められることです。

決して点数化できるものではありません。日々の生活、実践の中で点数化せずとも現れてくるものではないでしょうか。

だからこそ本校の宗教教育を通じて、「ありがとう、おかげさま」の心を身につけた人になってほしい、という「建学の精神」に込められた願いを、生徒・保護者・教職員が今一度受け止める必要があると感じます。

新年度の始まりにあたり、龍谷中学校・高等学校宗教部として果たすべき役割を再確認したところです。

（文責 平井幸太郎）

卒業ピアノ発表会

令和7年2月1日（土）、佐賀市美術館ホールにて第11回保育コース3年・卒業ピアノ発表会が行われました。3年生28名にとって、クラス全員が演奏する機会がこれが最後であり、保育コースの1・2年生と保護者が鑑賞する中、3年間の集大成として見事に演奏することができました。高校に入って初めてピアノを弾くという生徒もいましたが、彼女たちが奏でる優しく美しい音色は聴いている人たちの心に響き、大きな感動をもたらしました。また、2年生合唱「ふるさと」、3年生合唱「ありがとう」も加わり、より一層保育コースらしいピアノ発表会となりました。これまで指導してくださった先生方、支え励ましてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（文責 蒲原）



【表彰】 全国高等学校長協会家庭部会・家庭科技術
保育技術検定 全種目1級合格

大橋 花音さん、中山 琴美さん、江里口愛花さん

保育コース3年生の3名が家庭科保育技術検定において全種目1級合格を果たしました。保育技術検定は、音楽リズム表現技術、造形表現技術、言語表現技術、家庭看護技術の4種目からなり、高い技術が求められます。自主学習や課題、補習に取り組み、難関を突破した3名に盛大な拍手を送りたいと思います。おめでとうございます！

（文責 蒲原）



卒業式 学び舎を巣立つ日

3月1日、本校にて令和6年度の卒業証書授与式が盛大に開催され、多くの保護者や教職員が見守る中、卒業生232名が新たな旅立ちを迎えました。卒業生代表の山口健太くん（③文理・武雄中）は、3年間の思い出を振り返りながら支えてくださった全ての方々への感謝を伝えるとともに、「龍谷で学んだこと全てを活かし、未来へと邁進していきます。」と力強く述べ、将来への決意を固めていました。

卒業生の皆さん、本当におめでとうございませう。皆さんのさらなる活躍を心から応援しています。



桜咲く！合格状況

※浪人生を含む

令和6年度も多く合格実績を残すことができました。特進コースは、昨年度に引き続き、九州大学をはじめとする5割強の生徒が国立大学へ合格しており、文理進学コースや総合コースからも国立大学への合格がありました。私立大学も龍谷大学や立命館大学、福岡大学、西南学院大学をはじめとする有名大学に合格をしています。この数年、年内入試による受験が増加しており、日ごろの生活態度や授業態度が重要になります。

【国立大学】

九州大学
佐賀大学（医）
佐賀大学
熊本大学
鹿屋体育大学
北九州市立大学
長崎大学
鹿児島大学

【私立大学】

IPU・環太平洋大学
SBC東京医療大学
大阪芸術大学
大阪工業大学
大阪体育大学
大谷大学
岡山理科大学
神奈川大学
関西外国語大学
関西学院大学
関西福祉大学
九州看護福祉大学
九州国際大学
京都外国語大学
京都産業大学
熊本学園大学
久留米工業大学
神戸親和大学
国際医療福祉大学
国士館大学
純真学園大学
聖マリア学院大学
清和大学
崇城大学
第一薬科大学
中央学院大学
桐蔭横浜大学
東京電機大学
東京農業大学
東京理科大学
同志社大学

名古屋学芸大学
日本経済大学
日本赤十字九州国際看護大学
阪南大学
福岡国際医療福祉大学
法政大学
明治大学
立命館大学
令和健康科学大学
久留米大学
京都女子大学
九州共立大学
九州産業大学
西九州大学
西南学院大学
筑紫女学院大学
中村学園大学
長崎国際大学
帝京大学
福岡工業大学
福岡大学
龍谷大学
近畿大学
西九州大学佐賀調理製菓専門学校
門校

【短期大学】
大分短期大学
九州大谷短期大学
佐賀女子短期大学
福岡こども短期大学
別府大学短期大学部
山形大学短期大学部
西九州大学短期大学部
大分県立芸術文化短期大学
名古屋学芸大学
日本赤十字九州国際看護大学
阪南大学
福岡国際医療福祉大学
法政大学
明治大学
立命館大学
令和健康科学大学
久留米大学
京都女子大学
九州共立大学
九州産業大学
西九州大学
西南学院大学
筑紫女学院大学
中村学園大学
長崎国際大学
帝京大学
福岡工業大学
福岡大学
龍谷大学
近畿大学
西九州大学佐賀調理製菓専門学校
門校

【専修・専門学校】
W Beauty College
アカデミー看護専門学校
あさくら看護専門学校
麻生外語観光＆ブライダル専門学校
麻生情報ビジネス専門学校
エッジ国際美容専門学校
公務員ビジネス専門学校
佐賀コンピュータ専門学校
佐賀市医師会立看護専門学校
佐賀歯科衛生専門学校
福岡ウェディング＆ブライダル専門学校
福岡ホスピタリティ・アカデミー
福岡リゾート＆スポーツ専門学校
福岡保健・スポーツ専門学校
福岡美容専門学校

【各種学校】
佐賀県高等水産講習所
佐賀県立産業技術学院
佐賀県農業大学校

ようこそ龍谷へ

令和七年度 龍谷中学校・高等学校入学式

4月9日、晴れやかな青空のもと、令和7年度の入学式が厳かに執り行われました。今年度は中学・高校併せて256名の新生が仲間入りし、新たな学びの場への第一歩を踏み出しました。式典では、新生を代表して田中結宇さん（①特進・佐大附属中）と中学生の野中礼華（①・西川副小）さんが宣誓を行い、田中さんは「新たな経験の過程で壁にぶつかり、立ち止まることがあったとしても、この場にいる新しい仲間と共に手を取り合い、諦めることなく前に進むことができるよう努力してまいります。」と力強く決意を述べていました。（文責 小杭）

新入生へ 学年主任より挨拶

ご入学おめでとうございます。これから三年間を過ごす皆さんにどのような未来が待っているのでしょうか？自分の未来をどう創りますか？皆さんの未来をさらに明るくするために、まずは「明るい未来を創造すること」、2つ目に「明るい未来につながる言葉を選ぶこと」、最後に「明るい未来につながるための考動をすること」が大事になってくるのではないのでしょうか。



また、皆さんは現在、変化の激しい時代の中で生活しているため、様々な場面で迷うことが出てくるかと思いますが、そのような時は、静かに見るのではなく、まずは行動をしてください。「チャンスは動いて待て」です。また、自分の意思や意見を発言できるように、「常に考え、意見を持つこと」も大切です。そして、自分のことだけではなく、周りの人を優先し、優しく接してほしいと思います。たとえ失敗したとしても、絶対にごまかしたり、嘘をついたりせず、正直さを持った人でいてください。

最後に、性別・年齢を超え、自分の価値観の異なる人と協働して力を更に発揮し、成長できる人間になれるよう努力し続けてほしいと願っています。

1年学年主任 紀伊 孝哉

願正寺参拝

4月16日（火）、高校1年生対象の願正寺参拝が行われました。佐賀市の願正寺内に設立された「振風教校」が本校の原点であり、毎年新入生がこの大切な場所にお参りする伝統の行事です。広い本堂内と厳かな雰囲気緊張をしている様子の生徒も見られました。ご住職からお寺と本校の歴史について、宗教部から本校の「建学の精神」について、宗教教育の意義など、学校生活を送る上でまずは理解しておきたい内容を伝えられました。

ぜひ「ありがとう、おかげさま」の心を身につけた人に成長していただきたいと思います。

（文責 平井幸太郎）



感謝の心、音楽にのせて

～ 第39回定期演奏会 ～

3月15日、佐賀市民文化会館にて第39回定期演奏会を開催しました。今年もたくさんの方々に来場いただき、とても嬉しく思います。

クラシックステージ、ポップスステージ、マーチングステージの全てのステージで龍谷らしいステージを作り上げることができたと思っています。また、この演奏会で引退された先輩方や、支えてくださった保護者の皆様に感謝の気持ちを伝えることができたと思います。このような演奏会が開催できたのは、日頃から応援してくださる皆様のおかげです。これから先も龍谷高校吹奏楽部は、部員一同、全力で努力していきますので、今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。

吹奏楽部 部長 佐野 愛純（文理③ 千代田中）



Ryukoku Interview 中川 琢生 さん (R6年度総合コース卒業) 北九州市立大学(外国語)、立命館大学(国際関係)、 関西学院大学(文学部)、西南大学(外国語・経済) 合格おめでとう



3月に本校の総合コースを卒業した中川さんが上記の大学に一般入試にて合格されました。そこで、中川さんにこれまでの学習の取り組みを教えてくださいました。

共通テスト対策はひたすら問題を解くことだと感じました。自分はまず数学社の過去問を一周し、形式と傾向を把握してそこから類似問題と復習を繰り返しました。

政経はひたすら過去問を解く方法でいいと思いますが、先に教科書などで概観をつかむと定着しやすいと思います。私はまとめノートは時間と効果が見合っていないと思うので、どの科目でもあまり作りませんでした。しかし、公共の哲学者などは全然覚えられなかったので、名前とキーワードだけメモして後で一問一答できるようにしていました。過去問は間違えたところにだけ印をつけ、再度解くようにしていました。

英語はとにかく色々な長文に触れることが大事だと思います。一度読んだ文は解き直さず、文構造や表現などのみを復習しました。分からない部分はChatGPTに張り付けて解説を見たりしていました。AIは英作文の添削などもできるのでお勧めの勉強法です。英語が苦手な人はYouTubeチャンネル『Morite2EnglishChannel』で文法を基礎から学び直すといいと思います。

国語も英語同様に一度解いた文の解き直しはせず、知識面の見直しだけをしていました。苦手な古典はスタサプで基本を身につけました。文法や定型表現は何度も声に出して覚えるようにしていました。国語は色々な問題に触れているうちに段々伸びてきますから、目先の得点に一喜一憂しないしてほしいと思います。

そして私は毎月模試を受けていました。学校で受ける進研模試に加え、受験終盤は塾や予備校の模試を受けていました。最初は上手いかない結果ばかりで落ち込みましたが、先生から学力はすぐには数字として出ないと言っていたこともあり、毎回どこは点をとりたいか、なんでダメだったか、次までにどこを勉強すればいいかなどを考えてコツコツ頑張るようにしていました。また本番の緊張を和らげることもつながったと思います。

夏休み前に突然一般受験すると言った私の背中を押してくださった担任の先生、分からないことや相談に乗ってくださった特進の先生方にはもちろんのこと、経済的な面で支えてくれた両親には感謝しています。結果がどうであれ、本番後悔しないように、100%の実力を発揮するために、皆さんには今のうちから自分の進路と向き合ってもらいたいと思っています。

龍谷 SPORTS & CULTURE

【柔道部】

第47回全国高等学校柔道選手権佐賀県大会(1月18日・19日・唐津東部武道館)

男子団体 3位

森永 倫平(②芦 刈) 北島 弘琉(②芦 刈)
飯盛 裡恩(②昭 栄) 堀 廣斗(①有 田)
本村 勇斗(①小 城)

男子個人73kg級

優勝 飯盛 裡恩(②昭 栄) (全国大会出場)

男子個人60kg級

3位 森永 倫平(②芦 刈)

第47回全国高等学校柔道選手権大会(3月19日・日本武道館)

男子個人73kg級

3回戦敗退(ベスト16) 飯盛 裡恩(②昭 栄)

【剣道部】

令和6年度第21回佐賀県高等学校剣道大会兼第34回全国高等学校剣道選抜大会県予選会(1月19日・吉野ヶ里町文化体育館)

男子団体 準優勝

平田 謙心(③龍 谷) 武末 紫道(③柳川大和)
江頭 大聖(③北茂安) 奥山 晃英(③龍 谷)
川内丸太一(②龍 谷) 高橋 颯(②三 橋)
中村旺志郎(②熊本帯山)

女子団体 3位

川内丸美緒(③龍 谷) 大曲 遥寧(③龍 谷)
安達 心希(③三 瀬) 石橋 杏愛(②龍 谷)
實松久玲愛(②龍 谷)

第25回大霧島旗争奪高校剣道錬成大会(3月8～9日・鹿児島県牧園アリーナ)

男子団体 準優勝

平田 謙心(③龍 谷)
武末 紫道(③柳川大和)
江頭 大聖(③北茂安) 奥山 晃英(③龍 谷)
川内丸太一(②龍 谷) 高橋 颯(②三 橋)
中村旺志郎(②熊本帯山)

第52回魁星旗争奪全国高等学校勝抜剣道大会(3月29～31日・秋田県立武道館)

男子団体 ベスト8

平田 謙心(③龍 谷) 武末 紫道(③柳川大和)

江頭 大聖(③北茂安) 奥山 晃英(③龍 谷)
川内丸太一(②龍 谷) 高橋 颯(②三 橋)
中村旺志郎(②熊本帯山)

【空手道部】

第49回佐賀県空手道選手権大会(4月6日・鳥栖市民体育館)

少年男子組手 個人戦

優勝 光吉 泰雅(③昭 栄)

少年男子形 個人戦

優勝 山田 凱斗(②東原彦舎東部校)

少年女子形 個人戦

優勝 宮崎 祥歩(③鳥 栖)

準優勝 中西陽菜多(①鴨 方)

3位 吉村 心愛(①早 岐)

【陸上部】

令和7年度春季記録会(4月5日・SAGAサンライズパーク陸上競技場)

男子100m

2位 吉田龍ノ介(②鳥栖西) 11.23

4位 村上 純大(③城 東) 11.26

8位 馬渡 雄大(②城 南) 11.36

男子300m

4位 内田琥太郎(③城 東) 36.33

6位 延 蓮太郎(②鳥 栖) 36.41

男子300mH

3位 松江 春親(③城 東) 43.82

男子走高跳

7位 唐松 蓮斗(②成 章) 1m70

7位 山口 宗真(①白 石) 1m70

男子三段跳 6位 村上 純大(③城 東) 12m26

男子砲丸投げ

1位 坂上 拓望(②川 副) 11m06

4×100mR 1位 41.86

井島 暢宏(②城 北) 馬渡 雄大(②城 南)

延 蓮太郎(②鳥 栖) 吉田龍ノ介(②鳥栖西)

女子100m

6位 海老原もえ(③香 楠) 13.73

女子300mH

3位 今泉 彩那(③金 泉) 50.72

女子走高跳

2位 徳久 莉央(①有 田) 1m55

6位 松浦 心花(③鹿児島西部) 1m40

【自転車競技部】

令和6年度全国高等学校選抜自転車競技大会(3月24日～28日・北九州メディアドーム/オートボリス)

4km速度競争 予選敗退 山下 隼(①神 埼)

男子個人ロードレース

途中棄権 山下 隼(①神 埼)

男子ケイリン 予選敗退 松浦 慶生(①光 大和)

【男子バスケットボール】

第56回佐賀県高等学校バスケットボール春季選手権大会(3月20日・多久高校体育館)

ベスト8

2回戦 龍 谷 114-54 多久高校

3回戦 龍 谷 87-58 有田工業

準々決勝 龍 谷 31-122 佐賀北

【吹奏楽部】

第50回九州アンサンブルコンテスト(2月9日・宮崎市民文化ホール)

サクソフォン8重奏 金賞

辻 真心(③昭 栄) 樋渡 真実(③西有田)

富永 美咲(③城 北) 石原 そら(②城 南)

富永 一平(①城 北) 宮原亜亜紗(①鍋 島)

本告 楓(①神 埼) 山本 望心(①鍋 島)

【高校美術】

第36回佐賀県高等学校総合文化祭 美術・工芸展(11月4日・佐賀県立博物館・美術館)

デザイン 準特選 吉田真悠子(④龍谷)

佳作

金色より(⑤龍谷) 黒尾丸明咲(⑤龍谷)

入選

副島 空姫(⑤龍谷) 西村 知世(⑤龍谷)

藤戸 唯織(④龍谷) 篠原 光香(①大川桐葉)

宮川 遥(①大川桐葉) 山口 杏(①城 東)

立 体 特選 宮地 柚妃(①城 北)

第8回全九州総合文化祭(12月13～15日・福岡市美術館・福岡市市民福祉プラザ、福岡大学附属大濠高等学校)

佐賀県代表出場 宮地 柚妃(①城 北)

第63回佐賀県高等学校デッサンコンクール(1月26日・佐賀北高等学校)

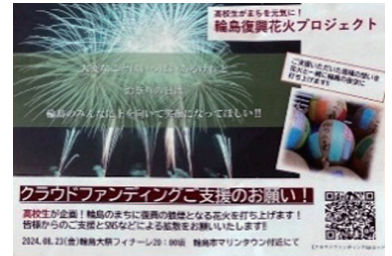
静物・鉛筆デッサン 準特選 森 久桂(③大和)

●日本青年会議所主催の被災地支援プロジェクト参加後活動の最終報告

2月19日 in 龍谷高校

能登半島地震寄付金の贈呈式を行った。昨年8月に上記プロジェクトに参加した生徒〔豊増恒星生（理数グローバル5年）〕が、目の当たりにした被災地の現状と何をすべきかの想いを学校内外でプレゼン発表し、生徒・保護者・教職員・地域の人たちに呼びかけて義援金とメッセージを募った。生徒会・サッカー部が既に募金活動で集めていた能登半島義援金も合わせて、連携協定を結ぶ青年会議所佐賀ブロック協議会に手渡し、佐賀災害支援プラットフォームを通して温かいメッセージとともに、現地へ届けていただいた。

（文責 徳森）



●『市民講座 佐賀在住の大学生との座談会

「ガチ中国」について今こそ、語り合おう』に参加

3月15日 in 佐賀市保健福祉会館ほほえみ館

「今こそ自分の見てきた中国を伝えたい」と若者による座談会が開催された。本校からは、中国・国際交流に関心のある生徒3名が参加した。〔榎可南（高2・附属中）・山口啓太（理数グローバル2年）・松石望愛（理数グローバル5年）〕登壇者は、佐賀大学・九州大学の学生（日本人・中国人留学生）。参加者は中高生・大学生・留学生・中国や国際社会に関心のある市民の方々だった。中国・日本を目の当たりにして感じたことや両国の異文化を共有した。佐賀県代表で貴州訪問をした学生は、「ほぼ現金を使わない中国に驚きがあった、人々の温かさや情熱を感じた」と話し、「今後期待することは自分たち若者が国際交流で"化学反応"を起こしていこう」と呼びかけた。

（生徒感想）「以前シンガポールに行ったとき、中国語圏の方が多かったことに驚いた。将来は医者となり、多国籍国家のシンガポールで働きたいと考えている。中国語ができればより円滑に医療を行えると思い、今回参加した。」「実際に母国と違う国で、母語を使ってコミュニケーションをとれることはとても楽しいというお話から、英語の勉強においてもインプットだけではなく、実際に話すアウトプットを今後頑張っていきたいと思った。」「今回参加してもっと中国のことや中国語を勉強したいと思った。さらに、中学3年時の海外研修で中国語圏の方に話しかけられた際、完璧に話せるようになりたいと思った。」

（文責 徳森）

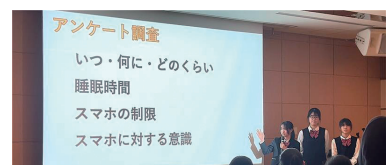
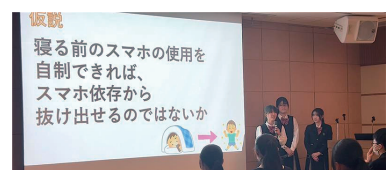


●第1回さが探求プレゼン大会に参加

3月18日 in ホテルグランデはがくれ

県立・私立合わせて26校の生徒が参加したこの大会では、各学校で取り組まれた課題解決型探究学習についてのプレゼンテーションが披露された。本校からは3名参加した。〔浦井邦桜（理数グローバル5年）・古賀凜（理数グローバル5年）・松石望愛（理数グローバル5年）〕『クラスメイトをスマホ依存から救うには？』というタイトルで、探求学習の成果を伝えることができた。彼らはクラスメイトの長いスマホの利用時間に気づいたことから、事前調査の結果を根拠に仮説を設定し、検証実験を行った。その結果、スマホを自室や寝室に持ち込まないようにすることでスマホの長時間利用を防ぐことにつながることを明らかにした。さらに、この経験を生かし、信頼性の高い検証実験に取り組み、最終的にはより多くの同世代の人々を救えるアプリを開発したいと締めくくった。受賞は逃したものの、身近な話題から実験をして解決するプロセスやエビデンスの高さについて審査員の先生から好評をいただくことができた。今後の探究学習がさらに深まっていくきっかけにつながるような堂々とした発表だった。

（文責 中村）





龍谷SDGsなう

『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』
4つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章



- ①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します
- ②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します
- ③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります
- ④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します

●万博国際交流プログラム 世界を知ろう！トンガってどんな国？？？に参加

1月23日 in 国際交流広場（商工ビル内）

大阪万博の開催に伴い、本校では佐賀市・地球市民の会の協力の下、トンガとの国際交流を行う予定である。その予行として、今回「オンライン国際交流イベント」が開催された。参加者は小学生から社会人まで計30名程度で、本校からも3名の生徒が参加した。〔松石和桜（理数グローバル3年） 中島未緒（理数グローバル4年） 松石望愛（理数グローバル5年）〕教育委員会深川千幹先生からの国の紹介・トンガの方とのオンライン交流・万博についての話があった。生徒達も来年の交流に向けて意欲高く受講し、最後の質問タイムでは、英語での交流を楽しんだ。

トンガ紹介



オンライン交流



万博について



質問タイム



新聞記者から取材



●住み続けられる街づくり「私が思う理想の世界」について考察

2月1日 in 龍谷高等学校

地域に根ざした起業家・議員の3名（Make&Space古賀久達氏・株式会社エグチビルド江口功二氏・白石町議員友田かずお氏）に「豊かな国に住んでいること、気付いている？」・「豊かに生きるためには」・「政治で暮らしを豊かに」をテーマに講演いただき、その後それぞれ関心のある講師との座談会を開催した。この前後の時間で「私が思う理想の世界」について思考ツール『マッピング』で意見を出した。講演前後の変化は大きく、「皆に心の余裕がある世界」・「だれ一人笑顔絶やさず争いを起こさない世界」にしたいと発表した。今後も、グローバルな視点で世界に向けて「問い」を立て、身近な問題を解決できる力を育むことを期待したい。

（文責 徳森）



初心を忘れず、「自立した学習者」を目指す

龍谷 中学校

中高一貫 理数グローバル

心機一転、新環境にてスタート

令和2年4月から学びのスタイルを再設定してスタートした中高一貫理数グローバルは、この4月より中学一年生から高校三年生までの六学年がそろいました。

それを機に龍谷中学校が平成6年4月以来31年間、学習の拠点としてきた本校校舎「振風館」から、この令和7年4月より「東校舎」に教室・職員室が完全移転しました。生徒・教職員共々気持ちも新たに、理数グローバルが掲げる「自立した学習者」を目指し、意欲的に学校生活を送っていききたいと思ひます。

(文責 松尾)



三年間の成長した姿に感動、中学校課程修了

理数グローバル三期生「卒業式」

3月15日(土)、本校講堂・阿弥陀様のご尊前において「二〇二四(令和六)年度 卒業証書授与式」が執り行われました。

ご来賓の方々、保護者、在校生が見守る中、中学三年間の義務教育課程を無事に修了した理数グローバル第三期生(十二名)は、緊張した面持ちで校長の前に進み出て、一人ひとり卒業証書を受け取りました。

生徒を代表して栗田桜雅(おうが)さんが、「未知の世界にたくさんさんの刺激を受けた海外語学研修。初めての体験ばかりで、たくさんさんの衝撃を受けました。シドニー空港から一歩足を踏み出すと、快晴の空の下で生き生きと生い茂っている植物たち、見たことのない動物たちが街の中を歩いている光景、そして交流し合っているさまざまな人種の人々……。一目でここは日本ではないということを実感しました。三日間のホームステイを経験して、英語でのコミュニケーションの仕方だけではなく、家の中に土足で入るなどといった文化や習慣の違いも知ることができました。」と中学三年生時のオーストラリア語学研修での思い出を答辞の中で述べ、仲間や家族、教職員への感謝の気持ち、そしてこれから始まる高校での新生活に向けての決意を伝えました。

式終了後、感謝の気持ちを込めた合唱では、多くの保護者の目に涙も見られました。

(文責 松尾)



希望にあふれる表情いっぱい、新生活スタート

理数グローバル六期生「入学式」

4月9日（水）、桜の花が咲き誇っている中、龍谷中学校・高等学校の「入学式」が、本校体育館にて執り行われました。

新入生（十六名）を代表して石橋知己（ともき）さんが、「理数グローバルでは『挑戦する力』『未来を描く力』『論理的に考える力』『他者を理解する力』『コミュニケーション力』『プレゼンテーション力』を身に付けるためのさまざまな学びや体験ができると思うと、今からとてもワクワクしています。」と期待に胸をふくらませた思いを述べました。

式後のホームルームの時間は、担任からの堅苦しい挨拶ではなく、まずは新入生同士が打ち解けられるように、簡単な自己紹介を兼ねたゲームを行い、新クラスは早くも和やかな雰囲気包まれていました。ダブル担任制の一人はN/ET (Native English Teacher) が務めており、早速英語での説明や紹介などをユーモアも交え行われました。新入生は、少し緊張しながらも積極的に受け答えをしている様子が頼もしく思われました。

昼食後の活動では、新しい仲間が一人ひとりに無償貸与され、その設定や基本的な使い方について、生徒はもちろん保護者に対しても説明されました。新しい中高一貫理数グローバルの仲間が、これからどんな活躍をしてくれるのか、とても楽しみです。

（文責 松尾）



龍谷の仲間、大集合！

二〇二五(令和七)年度 「対面式」

4月11日（金）、春の日差しが心地よい朝の時間、本校グラウンドにおいて「対面式」が行われました。入学したばかりの中学・高校の新入生と、在校生、そして教職員が「よろしくお願ひします」と、お互いに挨拶を交わしました。

今年度、新たに着任された松尾敏実校長からの挨拶の後、中学新入生を代表して野中礼華（れいか）さんが、「一ヶ月前まではランドセルを背負っていた私達ですが、今朝は佐賀龍谷学園の一員として、真新しい制服に身を包み登校して参りました。先輩方に混ざり、校内に入る時は、とても緊張しましたが、先生方をはじめ、先輩方の明るく優しい笑顔と爽やかな挨拶に緊張が少しずつほぐれていくように感じました。」と全校生徒の前に、一言一言丁寧に挨拶すると、温かい歓迎の拍手が送られました。龍谷生も清々しさ、頼もしさを感じる一日の始まりでした。

（文責 松尾）



第72回 卒業式

九州龍谷短期大学

学園だより

鳥
栖
市

2025（令和7）年3月13日にホテルビアントス（鳥栖市）にて「第72回卒業式」が挙行されました。

散華衆（在学生）による「献灯・献華・献香」や後藤学長からの式辞を受けて、卒業生54名（人間コミュニティ学科24名、保育学科30名）を代表し、保育学科 藤田 千尋さんが挨拶をし、学生生活の中でお世話になった家族・友人・教職員や関わりあった多くの人々への感謝の言葉とこれから一人の社会人として生きていくことの抱負を語ってくれました。

短大生活の2年間（あるいは3年間）という短い時間の中で、大きく育った卒業生たちの姿を眩しく心強く感じる式典となりました。



佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園

「よいこのおやくそく」

- ・わたくしたちは、みほとけさまをおがみます
 - ・わたくしたちは、いつも「ありがとう」といいます
 - ・わたくしたちは、おはなしをよくききます
 - ・わたくしたちは、みんななかよくいたします
- 毎朝、手を合わせてお参りをしています



絵具で初あそび！



テラスや園庭で初あそび！



令和7年度
スタートしました！

子どもも先生たちも、
わくわく・どきどき



令和6年度末に龍谷こども園幼年消防クラブが知事表彰を受けました。今年度も、防災意識の向上を目指します！

